



少年センターだより



毎月1日は「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく！

毎月第3日曜日は「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話，家族の輪

平成29年9・10月号

(第389号)



大村の子供達の安全のために ～花火大会・夏越まつりの特別合同補導～

3000発の花火を合図に、大村の一大イベントである花火大会（8月1日）夏越しまつり（8月2日、8月3日）が盛大に開催されました。大輪の花火を家族そろってみあげたり、友だち同士でそのすばらしさに見とれたりリズムの良い太鼓に合わせながら仲間とともに「大村音頭」を踊ったり、子供達が買ってもらったかき氷をおいしそうに頬張ったり…そんな楽しく嬉しくて笑顔がたくさん会場の裏で、未来ある子供達の安全を守るためにとたくさんの方々に協力していただき「夏・特別合同補導」を行いました。



大村市少年補導委員、大村地区少年補導委員、大村市PTA連合、各高校の先生方、そして警察の方々にも協力いただき、花火大会会場や夏越しまつり会場周辺や各地区をパトロールしました。市内小中高校の共通ルールとして22時までに帰宅完了と規定されていたので、22時30分頃まで子どもたちに早く帰るように声をかけたり、自転車の無灯火を注意したりしました。のべ350人を超える方々が、猛暑の中、夜道をパトロールしてくださったおかげで、子供達が非行に巻き込まれず、安全に帰宅するために大きな効果があると実感しています。

ある補導委員の方は、全体の補導活動が終了後、バスの発着場で保護者を待つ子供達の安全のために見守りを続けておられました。また、補導活動に参加されたある保護者の方は、帰宅途中に見かけた子供達の事を心配され、少年センター事務局に連絡してくださいました。私自身も中高生の保護者ですが、多くの方々のおかげで、子供達は安全に、安心して、夏のイベントを楽しむことができたのだなと思いました。



大村の子供達の安全のために

～「非行防止・ココロねっこ運動」キャラバン～

7月は青少年健全育成強調月間・ココロねっこ運動啓発強調月間でした。前号（29年7・8月号 第388号）でお知らせしていた計画に沿って大村市内の14地区・校区の健全協の方々や学校と連携し、広報車（少年センター育成号・出張所の青パト車）を使って、下校時（集団下校）や夕方方の時間帯に、「夏休みの帰宅時刻・水の事故による被害防止・青少年を

トラブルにあわないよう見守ること等」という放送をしながら巡回しました。

各地区・校区の健全協から たくさんの方々にご協力していただきました。改めて大村市内をキャラバン活動で巡回すると、知っているようで知らなかった場所がたくさんありました。各健全協の方々の道案内のおかげで、スムーズに巡回することができました。また、その際に危険箇所の見回りや注意喚起の立て看板等の手立てについてお聞きすることができました。



この地道な一歩が、大切な命を守る活動につながることを信じていきたいと思えます。

大村の子供達の安全のために ～社会環境実態調査～

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に連動して行われる県下一斉調査で、ゲームセンターやカラオケボックス、インターネットカフェ、書店、コンビニ等に立入調査員（要資格）が出向き、店舗状況等を調査して青少年の非行・被害防止に努める活動です。7月調査では下記のことが確認できました。

- 大型店舗や雑貨店、コンビニ等では万引き等の被害があるため、見守り（声かけ）を強化している。
- カラオケ店・ゲームセンターでは、年齢確認や入場制限を実施して、健全育成に努めている。
- 携帯電話ショップでは、高校生のスマホ保有率が高い。フィルタリングは必ず勤めているが、設定には時間がかかってしまうため、保護者の方々が途中でやめてしまうこともある。

今年度2回目は11月に実施します。大村市の状況については 改めて報告させていただきます。

〈コラム〉

人は、互いに支えられて生きています。子どもたちも、みんな仲良く、明るく元気に過ごしています。ところが、「安易に人をからかうような言動」や「ちょっとした行き違いや口論」から、「相手の心を深く傷つけたり」「交友関係の摩擦やトラブルに発展したり」することもあります。

最近の子どもたちは、交友関係で悩むことも少なくありません。情報の氾濫等による「本来使うべきでない言葉や行うべきでない行為の『横行』」、様々な理由による「コミュニケーションの経験不足」等が考えられます。本来、人間関係は、自分の思いを一方向的に伝えたり、押しつけたるのではなく、互いに相手の心を推し図り、声をかけ合ったり、思いやったり、支え合ったりする中で、行き違い、葛藤しながらも、信頼と友情を深めつつ、関係が深まり、広がっていくものなのですが・・・。

子どもたちは、いつの日か、大人の社会へ巣立ち、多くの人・仲間たちと、支え・支えられ、磨き・磨かれて生きていくこととなります。私たち大人がずっとそばにいて、守り・サポートしていくことはできません。だからこそ、子どもである今、子ども自身が、学校でも地域でも、周囲の状況にもっともっと関心を持ち、多くの人や友達と関わって欲しい。そして、「健全な友情と信頼の温かさや重み」を体感する中で、相手の心を推し図り、「相手を人として認め・敬う心、大切に作る心」を一つ一つ育てていってほしいと思います。 <ひびK・I>

青少年に関する相談（学校・友だち・家族・進学・子育て…）は、少年センター所員が、じっくりとお聞きします。お気軽にご相談ください！

☆Eメール：kiitekudasai@city.omura.lg.jp ☆フリーダイヤル：0800-200-20